

自分を磨ける絶好の環境で、
すべての知識・スキルの向上を。



山中 優
入職2年目

リハビリテーション部門

作業療法士

OCCUPATIONAL THERAPIST

全国規模で展開する医療機関であることに魅力を感じJCHOに入職し、今は脳神経外科を専門にリハビリを担当しています。



臨床工学技師から作業療法士へ
日々勉強を怠らず結果につなげる

前職は、機械の操作が主な仕事の医療職でした。「もっと人と接しながら成長したい」との想いから転職を決意しました。患者さんに深く関わられる作業療法士（OT）に魅力を感じるようになり、再び専門学校に入学しOTを目指しました。その中で、リハビリに特徴があるグループの各病院を経験できるJCHOに魅力を感じ入職しました。整形外科疾患から脳神経疾患、消化器疾患など、病気により障害が残った方のリハビリを行っています。

OTの役割は、患者さんが元の生活に戻れるよう日常で行う動作の回復を手助けすることです。一人ひとりのライフスタイルを考慮したうえでリハビリを行う必要があり、毎回課題と発見があります。最初は分からないことが毎日のように発生し、自分で調べたり先輩やドクターに質問する日々でした。入職して1年が経った頃、担当した患者さんが予定より早く退院でき喜んでいただけただけで、自信が持てるようになりました。

JCHOのメディカルスタッフは、全員が探究心を持って業務を遂行する医療のプロです。幅広い症例に触れることのできるJCHOで、周囲から大きな刺激を受けながら高いレベルで総合的な知識・スキルを持ったセラピストになる。それが、最終的な目標です。

健常者にとって当たり前のことができない患者さんのために、一人ひとりの生活スタイルに合わせて動作の回復へと導きます。



リハビリテーション部門

言語聴覚士

SPEECH-LANGUAGE HEARING THERAPIST

人の役に立ちたい。そんな思いから、大学卒業後に図書館司書として働きながら言語聴覚士を目指しました。



JCHOは、全国に広がるネットワークにより最新の医療に触れる機会が多く、やる気があれば、どんどんレベルアップできます。また、休暇制度が充実しているためプライベートを大切にしながら働けるのも魅力です。そんな環境を十分活用し、他の医療職と一緒に頑張って患者さんのリハビリに力を注いでいきたいです。

大学は文系学部を卒業し、働いていました。しかし、直接人の役に立つ仕事をしたいと言語聴覚士を目指し専門学校に入学しました。免許取得後はJCHOに入職し、地元の星ヶ丘医療センターに配属され、脳梗塞や高次脳機能障害などの後遺症で、言葉や飲み込みが不自由な患者さんを中心にリハビリを行っています。入職して数年は、目の前のことを対処するのに必死で深く考えることなくリハビリを行っていました。経験を積み患者さん一人ひとりに向き合えたことで、個々のライフスタイルを尊重したよりよい方法があるのではと考えるようになりました。そこで、他職種の手法を学ぼうと学会に参加したり勉強会を開催するなどして他の職種間で積極的に意見を交換し、例えば、他のセラピストや看護師といった、ST以外のメディカルスタッフからのアプローチを学ぶことで、広い視野を持つようになりました。

大学は文系学部を卒業し、働いていました。しかし、直接人の役に立つ仕事をしたいと言語聴覚士を目指し専門学校に入学しました。免許取得後はJCHOに入職し、地元の星ヶ丘医療センターに配属され、脳梗塞や高次脳機能障害などの後遺症で、言葉や飲み込みが不自由な患者さんを中心にリハビリを行っています。入職して数年は、目の前のことを対処するのに必死で深く考えることなくリハビリを行っていました。経験を積み患者さん一人ひとりに向き合えたことで、個々のライフスタイルを尊重したよりよい方法があるのではと考えるようになりました。そこで、他職種の手法を学ぼうと学会に参加したり勉強会を開催するなどして他の職種間で積極的に意見を交換し、例えば、他のセラピストや看護師といった、ST以外のメディカルスタッフからのアプローチを学ぶことで、広い視野を持つようになりました。

文系から言語聴覚士へ
他職種の考えを取り入れ幅を広げる



言語聴覚室や患者さんのベッドサイドなどで、患者さんの気持ちを尊重しながら“言葉のリハビリ”を行っています。

多様な経験を積むことができる。
そんな強みを最大限に活かして。



中村 優
入職5年目